

### CONTENTS

● 一般社団法人音楽電子事業協会第13回通常総会報告、新役員挨拶	1~2
● 令和6年度役員名簿・組織	3
● 令和6年度事業計画 委員会活動(案)	4~5
● AMEI会員名簿・令和6年度MIDI検定告知・SysEXID会員募集	6

## 一般社団法人音楽電子事業協会 第13回通常総会報告

令和6年5月16日、一般社団法人音楽電子事業協会第13回通常総会が午後4時30分から東京飯田橋のホテルメトロポリタンエンドモントにて開催されました。総会に先立ち、松木温会長より、「こうして各社が集まってさまざま議論をすることは非常に有意義だと思っている。一つの会社の利益ではなく、音楽業界、楽器業界というもう少し大きなビジョンなり夢を共有できる力を感じている。当協会でも会社の枠を超えて将来の姿について議論いただければと思う。」との挨拶がありました。続いて、事務局から定足数(正会員24社に対し、委任状を含む出席21名)が発表され、総会の成立が報告されました。定款に基づき松木会長が議長となり、議事録署名人として三木康司様、古山俊一様の2名が選任され、議案審議に移りました。

「令和5年度事業報告」に続いて、第1号議案「令和5年度収支決算承認の件、及び監査の報告」につき事務局からの報告並びに監事の三木康司様からの監査報告があり、承認。第2号議案「令和6年度事業計画(案)審議決定の件」では、各委員会の活動予定が説明され承認されました。続いて第3号議案「令和6年度収支予算(案)審議承認の件」が承認。第4号議案「令和6年度役員選任の件」では、現理事、監事及び幹事の2年間の任期が満了となり、今年度も原則として前任の理事・監事が留任し、一部新任とする役員案が事務局より提案され、再任理事7名、再任監事2名と新任理事として大石耕史様、志水貴光様の2名が承認されました。また新任幹事として石垣敦子様、中村維利様並びに新任顧問として佐々木隆一様の紹介がありました。以上ですべての議案が審議・承認されました。最後に議長より議事進行についての協力を謝し、第13回通常総会は終了しました。その後、総会にて承認された理事による臨時理事会が別室にて開催され、会長、副会長、専務理事、常務理事の選任、及び幹事構成員の選任、顧問の選任が承認されました。

続いて午後6時から「通常総会懇親会」が開催され、松木会長のご挨拶の後、ご来賓の経済産業省商務情報政策局コンテンツ産業課課長補佐腰田将也様、文化庁著作権課著作物流通推進室室長渡邊浩人様からのご挨拶に続いて、一般社団法人日本音楽著作権協会常務理事増田裕一様の乾杯のご発声により、賑やかに懇親会が始まりました。



会はその後も、本総会で副会長を退任された佐々木隆一様、水本浩一様からのご挨拶を間に挟んで、和やかな談笑が続けられ、飛河和生常務理事による中締めの後、午後8時過ぎに散会いたしました。

### 新会長挨拶 松木 温 ヤマハ株式会社 執行役員 楽器事業本部ピアノ事業部長

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、令和6年4月15日に開催された理事会にてご承認をいただき、前会長山口の後任として会長に就任いたしました松木です。この場をお借りして、皆様にご挨拶申し上げます。

私はこれまで主にアコースティックピアノの開発畑を主なキャリアとしておりましたため、仕事上は電子楽器/電子音楽との接点はそれほど多くはなかったのですが、個人的な趣味としてはDTM、シンセサイザーなど、長く触れてきました。今回ご縁がありまして、このような役職を仰せつかったこと、大変嬉しく思っています。

昨年より新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、日常生活が徐々に以前の姿を取り戻しつつあります。本協会におきましても、5月16日に数年ぶりに第13回通常総会がリアルで開催され、久しぶりにフェーストゥフェースで各業界の関係者の皆様と情報交換ができたことを大変嬉しく思います。私も、今回初めて懇親会に参加させて頂きましたが、多くの業界関係者の皆様に参加されていることが大変印象深く、そうした多くの皆様のご協力により、このAMEIという組織が成り立っているということに改めて実感いたしました。しかしながら、コロナの影響が完全に消え去ったわけではなく、いくつかの領域においては不可逆的な変化をもたらしたことも痛感しております。音楽の楽しみ方や関わり方にも変化が見られ、さらに最近のAI、VR/ARなどの最先端技術の進歩には目を見張るものがあります。こうした急速な環境変化の中で、MIDI規格や知的財産権といったものについては、今後益々その重要性が増すものと考えますし、電子音楽の領域において、整備が期待されていることを強く感じます。AMEIの存在意義の一つとして、個々の企業単体では解決できないような横断的な課題を解決する、という使命があると考えております。そのような環境変化の中で、会員の皆様のご協力をいただき、あるべき姿を目指して活発に検討を行い、課題解決につなげることができれば大変嬉しく思います。

今後とも、会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



松木 温 会長

## 新任役員挨拶

### 新任副会長 志水 貴光 ローランド株式会社 Electronic Instrument 開発本部長

この度、5月16日の通常総会にてご承認いただき、水本前副会長の後任として副会長を務めさせていただくことになりました。ここに謹んでご挨拶申し上げます。

弊社は2022年3月から初の外国人CEOのもとグローバル化を進めてまいりましたが、今年7月1日、袁輪 新CEOがバトンを引き継ぎ、さらなるイノベーションを起こせる企業への成長を目指しておりまして、新製品開発・技術開発を担う者として、自身の思いを新たにしているところであります。

奇しくも今年は、他のAMEI会員の皆様の中にも、新しい世代へ経営が引き継がれた企業が複数あることから、今が、業界の新たな躍動の契機であると感じております。いよいよMIDI 2.0対応製品が増え、ユーザーがその価値を享受できるようになり始めましたが、それゆえに見えてきたハードルも多く、より一層、業界が一体となって課題を解決し、普及を推進すべき時にあることや、生成AIによるクリエイション機会が加速度的に増大し、より多くの人に音楽の創造の喜びを拡げることが出来るチャンスである一方で、アーティストの著作権保護、公正なクレジットが得られる仕組みづくりという大きな課題への取り組みが早急に求められていることや、近年増え続ける各地域、各国の法規制を遵守し、より環境や安全に配慮した製品づくりを行うための情報交換や議論など、1社だけではなく、AMEIの皆様と共に、業界の総力で進めなければ成し得ないことばかりで、AMEIの活動は、ますます重要になるものと考えております。

そのような中で副会長に就任する重責を感じながらも、微力を尽くし貢献していきたい所存です。

皆様のご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



志水 貴光 副会長

### 新任理事 大石 耕史 株式会社コルグ 取締役

AMEI会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、第13回通常総会におきましてご承認いただき理事を務めさせていただくことになりましたので、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

私は株式会社コルグにおいて、デジタル・シンセサイザーの信号処理やプラットフォーム開発のほか、1ビット・オーディオ(DSD)に対応した高音質レコーダーや、ハイレゾに対応したインターネットの動画配信システム、文科省のGIGAスクール構想に対応した音楽ウェブ教材など、新規性の高い製品や技術の開発に携わってまいりました。

AMEIに参加させていただくようになったのは2013年からで、技術研究部会およびWeb MIDI WGのメンバーとしてWeb MIDI APIのHTML5標準化活動に関わってまいりました。その一環として、W3C Audio Working Group 会合にAMEI代表として参加し、楽器業界からの要望を伝えたり、ゲージルジャパン協力のもと「Web Music ハッカソン」を国内で計5回開催し、国内外でWeb MIDIやWeb Audioの普及に尽力してまいりました。2014年にはMMAと連携してBluetooth MIDIの規格化を進め、弊社を含め各メーカーが安心して当技術を採用できる基盤を構築できたのではないかと自負しております。

コンテンツ・サービスやライフスタイルの多様化、さらにはネットワークやAIをベースとしたデジタル技術の急速な進化によって、AMEIに求められている役割も、より大きく、より多様化しているのではないかと思います。

私も技術出身の理事として、微力ながら業界の発展と社会貢献に尽力していければと思っておりますので、会員の皆様のご支援、ご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



大石 耕史 理事

### 新任幹事 石垣 敦子 株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス ミュージックメディア部部長

このたび前任者の異動にともない当協会の幹事に就任させていただくことになりました。謹んでご挨拶申し上げます。

私共の部門では、楽譜出版や音楽コンテンツの配信事業を担当しておりますが、その中で私が長く携わっている「楽譜」事業について少しお話を致します。「楽譜」の歴史は長く、西洋音楽では、1000年ほど前に現在の五線譜の祖先ともいえる楽譜が使われるようになりました。記譜という概念で考えた場合はさらに古く紀元前からとも言われています。楽譜とは、歌唱や楽器演奏のために必要な情報が記されているものですが、一方で、演奏されたら過ぎていってしまう音楽コンテンツを“固定する”音楽史上最古のメディアでもあります。

この楽譜事業の市場も時代と共にさまざまな変化が起こっています。長い間、楽譜といえば紙に印刷した物で普及し親しまれてきたものでしたが、インターネットの普及と共に楽譜も配信での利用が広まりました。弊社が提供しております楽譜配信サービス「ぷりんと楽譜」も、スタートして20年が過ぎ、昨今の時代に合わせたサブスクリプション・モデルも提供するに至りました。もちろん、リスニングのサービスと比較すれば品揃えはまだ少ないのですが、多くの音楽愛好家や演奏家の方々に、手軽に、便利に楽譜を選んで利用できる方法としてご愛顧いただいております。

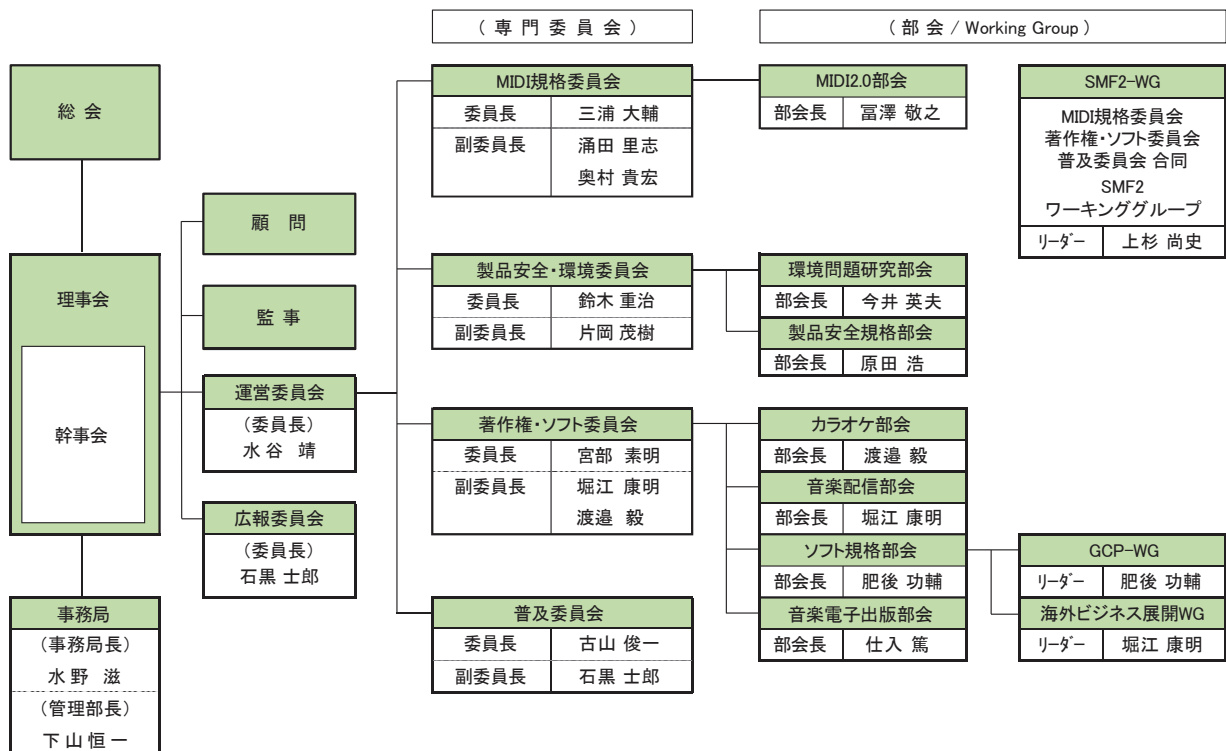
一方で課題もあります。例えば、後を絶たないインターネット上の違法楽譜の流通問題は、インターネットの仕組みが巧妙に利用されて犯人にたどり着くことが難しい例が多く、悩ましいものです。そのような事例の解決についても、AMEIのみなさまの知見を伺う機会があればと考えております。

不慣れな身ではございますが、会員の皆様のご支援、ご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

## 令和6年度 一般社団法人音楽電子事業協会役員名簿

理事会 幹事会役職	氏名	会社名	役職
会 長	松木 温	ヤマハ株式会社	執行役員 楽器事業本部ピアノ事業部長
副 会 長	志水 貴光	ローランド株式会社	Electronic Instrument開発本部 本部長
◇	渡邊 泰人	株式会社第一興商	専務執行役員
専務理事	水野 滋	一般社団法人 音楽電子事業協会	専務理事
常務理事	飛河 和生	クリムゾンテクノロジー株式会社	代表取締役
常務理事	水谷 靖	株式会社エクシング	代表取締役社長
理 事	大石 耕史	株式会社コルグ	取締役
◇	中西 正人	株式会社フェイス	専務取締役
◇	林 龍太郎	カンオ計算機株式会社	開発本部 第一開発統轄部第三開発部長
幹 事	石垣 敦子	株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス	ミュージックメディア部部长
◇	中村 維利	学校法人 尚美学園	法人本部長
◇	成田 賢哉	株式会社鈴木楽器製作所	執行役員 開発本部長
◇	箕輪 匡文	株式会社河合楽器製作所	常務取締役
◇	村上 昇	株式会社インターネット	代表取締役
監 事	三木 康司	株式会社シーミュージック	代表取締役
◇	古山 俊一	尚美学園大学	名誉教授
顧 問	佐々木 隆一		

## 令和6年度 組織図 一般社団法人音楽電子事業協会



\* 敬称略順不同



# 一般社団法人音楽電子事業協会 令和6年度事業計画委員会活動(案)

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

## 1 全体

以下各委員会活動は、定款(事業)第4条の各項に準ずるものとする。

## 2 製品安全・環境委員会

### 活動方針

製品安全規格・環境問題研究両部会での情報交換と、各法規制からの要求事項に対する解釈のレベル合わせのための活動を継続し、電子電気楽器及び関連機器製品の安全性確保と環境問題への対応推進を図る。

### 事業計画

「製品安全規格部会」：4月18日、7月18日、10月17日、1月16日  
原則第3木曜日開催を予定。東京又は浜松+オンラインのハイブリッドによる

「環境問題研究部会」：4月9日、7月9日、10月8日、1月14日  
原則第2火曜日開催を予定。東京又は浜松+オンラインのハイブリッドによる

### 活動テーマ

「製品安全規格部会」  
年4回部会を開催し、各国の安全規格・EMC規制・省エネルギー規制・無線規制等の情報交換を行う。

下記外部団体に参加して情報収集を行い、部会において各社に展開する。

- ・ JEITA マルチメディア EMC 専門委員会
- ・ JBMIA 第108委員会
- ・ 電気用品調査委員会の電波雑音部会
- ・ 電気製品認証協議会
- ※電気用品安全法の要望の窓口となる参加団体については引き続き調査する。

### 「環境問題研究部会」

- (1) 化学物質規制・管理法関連の動向調査及び情報交換
  - ・ EU RoHS、EU REACH
  - ・ CN RoHS、UAE RoHS
  - ・ US TSCA、Proposition65
  - ・ 各国化学物質管理・規制法
- (2) 省エネルギー法・規制の動向調査及び情報交換
  - ・ EU エコデザイン規則
  - ・ 各国待機電力規制
- (3) 廃棄物・リサイクル法関連の動向
  - ・ WEEE・各国容器包装法
- (4) その他の動向
  - ・ 違法伐採・木材管理法関連 (CITES 含む)
  - ・ PFAS・難燃剤規制の動向
  - ・ サプライチェーンにおける情報伝達 (chemSHERPA など)

## 3 MIDI規格委員会

### 活動方針

- 音楽や電子楽器に関する技術検討、規格審議を行い、将来の音楽事業発展に貢献する

### 活動計画

- MIDI規格委員会開催：
  - ・メーリングリストでの審議を基本とし、必要に応じてオンラインにて開催。
- MIDI2.0部会の開催：
  - ・月次開催。コロナウイルスの状況によりオンライン、オンサイト開催を検討。
  - ・状況により、適宜、臨時部会を開催
- イベント共催および参加：鋭意検討

### 事業計画

- ・MIDI 2.0市場発展をめざした標準化活動、及び推進活動
  - MIDI 2.0ホームページの拡充
  - MIDI 2.0デバイス情報提供システムの開発
  - MIDI 2.0ロゴ取得手順書の整備
  - MIDI 2.0規格実装ガイドラインの検討
  - 楽器関連イベントでのMIDI 2.0セミナー実施の検討
- ・MIDI2.0部会：
  - Windows USB MIDI 2.0 Driverの開発
  - MIDI Associationと連携し、MIDI 2.0関連規格の標準化
  - MIDI Associationと協力し、MIDI 2.0のDAW連携における課題解決
  - 仕様検証のためのプロトタイプングを必要に応じて実施
  - Piano Profile WGとの連携標準化活動
- ・SMF2 WGとの連携標準化活動
  - MA側からSMF2コンテナファイルの情報が更新され次第定例会を再開予定

## 4 著作権・ソフト委員会

### 活動方針

1. 会員各社の事業運営における著作権に係る問題点等を解決すべく、関係団体と協力し権利者との協議や文化庁に対する要望申し入れ等を活発に行う。また、著作権法の改正を含む様々な環境変化の中で生じる不具合については、積極的に関係省庁、権利者、管理事業者等に問題提起を行う。
2. 定例会を通じ各部会それぞれが取り組んでいる課題と成果をタイムリーに情報共有しつつ、委員各位の意見を吸収し部会活動に反映させることにより、会員個々の事業の活性化と市場の発展に貢献する。

### 活動計画

委員会定例会10回(8月、1月を除く毎月第二木曜日)、音楽配信部会15回程度(管理事業者との協議や関連団体

との意見交換含む)、  
ソフト規格部会 5 回程度、  
カラオケ部会 5 回程度、  
音楽電子出版部会 12 回程度

#### 事業計画

##### 【音楽配信部会】

1. 音楽配信に関わる問題点の情報交換・意見交換を著作権・ソフト委員会定例会の場にて実施すると共に、ネットワーク音楽著作権連絡協議会（以下 NMRC）を通じ管理事業者との協議・関連団体との意見交換に反映させる。
2. NMRC 実務 WG を通じて、実務上の問題点解決にむけ、管理事業者、関連団体との意見交換を実施する。
3. 音楽配信部会での情報共有、意見の集約を積極的に行う。
4. コンテンツビジネスや著作権についての意見交換を積極的に行う。
5. 関連部会や委員会との情報交換を密にし、部会での情報共有を行う

##### 【ソフト規格部会】

##### （GCP-WG）

- ・生成 AI と著作権に関する情報の交換
- ・化審議会著作権分科会での審議状況を共有
- ・一般社団法人日本音楽著作権協会（以下 JASRAC）管理再開楽曲の情報の共有
- ・適正な音楽利用に関する研究

##### （海外ビジネス展開 WG）

- ・EU の著作権指令の各国国内法への反映について今年度も継続して動向をウォッチしていく。ドイツの国内法で“利用可能化権”といった概念が出てきており、欧米ではあまり見かけなかったキーワード。深掘り予定。
- ・アメリカに複製権の管理団体の動向も引き続きウォッチしていく。

##### 【カラオケ部会】

1. JASRAC との使用料規程第 10 節「業務用通信カラオケ」に関する継続協議。
  - ・他の管理事業者が管理する楽曲の利用割合の反映に関する実務運用
  - ・非管理楽曲が使用されている実態を勘案した利用割合に関する協議
  - ・その他、使用料規程の取扱いに関する協議
2. 株式会社 NexTone との使用料規程に関する継続協議。
3. 各著作権等管理事業者との第三者機関を活用した実務運用の検討

##### 【音楽電子出版部会】

1. 楽譜や歌詞の可視的利用にかかる使用料規定について、過去の議論を基に現状と今後について、引き続き音楽電子出版部会にて協議していく。
  - ・JASRAC と NexTone の双方における用語定義の理解深めることを主眼に活動。
  - ・継続して、管理団体との WG の場を活用したヒアリングを実施する。
2. その他
  - ・外部環境、業界動向など掌握し情報アップデートに努める。
  - ・活動テーマ・イベントについては適宜部会内にて協議し柔軟な対応を行って行く。

## 5 普及委員会

#### 活動方針

MIDI 規格の正しい理解と普及を目的として、教育（MIDI 検定の実施継続）・普及（MIDI 規格委員会・会員各社との連携によるイベント等の実施）について、各委員会と連携し、計画・提案を行う。

#### 事業計画

##### MIDI 検定事業

「委員会開催予定」

4 月開催：2024 年度活動スケジュール・内容の確認と対策

##### 【2024 年度 MIDI 検定試験】 オンライン試験

- |                                |               |
|--------------------------------|---------------|
| 「第 16 回 MIDI 検定 1 級試験」         | 2024 年 8 月実施  |
| 「第 27 回 MIDI 検定 3 級試験」         | 2024 年 12 月実施 |
| 「第 26 回 MIDI 検定 2 級 1 次（筆記）試験」 | 2024 年 12 月実施 |
| 「第 26 回 MIDI 検定 2 級 2 次試験」     | 2025 年 2 月実施  |

##### 【2024 年度指導者認定講座】 オンライン講座

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| 「MIDI 検定 4 級指導者認定講座」 | 2024 年 6 月に開催 |
| 「MIDI 検定 3 級指導者認定講座」 | 2024 年 7 月に開催 |
| 「MIDI 検定 2 級指導者認定講座」 | 2024 年 9 月に開催 |

#### イベント事業

MIDI 規格委員会・広報委員会等と連携して、MIDI の普及イベントの計画  
・立案を行う。

## 6 広報委員会

#### 活動方針

外部に対する情報発信機能を充実し、当協会の存在意義を広くアピールすると共に、会員に対する情報提供機能の充実により会員の連帯感を強め、当協会の積極的な活動を側面からサポートする。

#### 活動計画

- ・会報「AMEI News」編集会議 3 回
- ・セキュリティ強化対策の検討会議 1 回
- ・サステナビリティ強化対策の検討会議 1 回

#### 事業計画

1. 会報『AMEI News』の発行（事務局との連携により推進）
  - ・年 3 回（4 月、8 月、12 月）ホームページへの PDF ファイルの掲載
2. ホームページの充実（事務局との連携により推進）
3. セキュリティ、サステナビリティ強化対策の検討の実施（事務局との連携により推進）
  - ・個人情報保護対策の強化検討
  - ・クラウドサービスの可能性検討

令和6年能登半島地震により被災された皆様に、  
 謹んでお見舞い申し上げますと共に、  
 1日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

## 会員名簿

50音順 2024年9月1日現在

<b>あ</b>	<b>し</b>	<b>ふ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>AlphaTheta 株式会社</li> <li>アナログ・デバイス株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社シーミュージック</li> <li>学校法人尚美学園</li> <li>株式会社シンクパワー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社フェイス</li> <li>株式会社ぶらあぼホールディングス</li> </ul>
<b>い</b>	<b>す</b>	<b>や</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社インターネット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社ズーム</li> <li>株式会社鈴木楽器製作所</li> <li>株式会社スリック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤマハ株式会社</li> <li>株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス</li> </ul>
<b>え</b>	<b>た</b>	<b>ろ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社エクシング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社第一興商</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローランド株式会社</li> </ul>
<b>か</b>	<b>て</b>	<b>を</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>カシオ計算機株式会社</li> <li>株式会社河合楽器製作所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ティアック株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 賛助会員</li> </ul>
<b>く</b>	<b>な</b>	<b>こ</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>クリプトン・フューチャー・メディア株式会社</li> <li>クリムゾンテクノロジー株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社 nana music</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中音公司 (中華人民共和国)</li> <li>株式会社博秀工藝</li> </ul>
<b>こ</b>	<b>は</b>	<b>の</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社コルグ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パイオニア株式会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式会社ミュージックトレード社</li> <li>株式会社リットーミュージック</li> </ul>
		<p>&lt;賛助会員会社 4 社&gt;</p>



令和6年度  
**「MIDI検定」**  
 ●ミュージッククリエイターのための認定制度



受験案内

第27回 MIDI検定**3級**試験  
 第26回 MIDI検定**2級1次**試験

**団体試験** 令和6年12月1日(日)団体会場  
 3級試験 PM1:30~PM2:30  
 2級1次試験PM3:00~PM4:30

**一般試験** 令和6年12月1日(日)オンライン試験  
 3級試験 PM1:00~PM2:00  
 2級1次試験PM4:00~PM5:30

**期間** 2024・9/9(月)~10/31(木)



2024  
 System Exclusive ID  
 会員募集

一般社団法人音楽電子事業協会(AMEI) システム・エクスクルーシブID会員 募集中。法人、個人を問わず楽器やMIDIアプリ、自作MIDI機器等を開発しようとする皆様に、会員規程のもと、System Exclusive Manufacture's ID Numberを発行致します。

AMEI NEWS Vol.83 / 2024.9.12  
 一般社団法人音楽電子事業協会 機関誌  
 発行：一般社団法人音楽電子事業協会 事務局  
 〒101-0061  
 東京都千代田区神田三崎町 2-16-9 イトービル 4F  
 TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549  
 発行人：水野 滋  
 編集人：石黒士郎 (広報委員会)  
 編集協力：株式会社 博秀工藝  
 ホームページアドレス：  
<http://www.amei.or.jp/>

